

区政会議での意見から考える大正区の強みと未来のファンについて

大正区の強み

1 | つながり・受容（異和共生／共助）

ちょうどいい距離で、
誰もが居場所を持てるまち

【意見】

- ・義理人情・思いやりが根づき、静かだが“熱い”人が多い
- ・子どもに温かく、地域で子育てを支える文化
- ・高齢者・障がい者・外国人・転入者も受け入れられやすい
- ・「やりたい人」と「受け入れる人」のマッチングが起きやすい

未来のファンは
どんな人？



ちょうどいい距離の“人好き”・地域に混ざれる人

- ・人との交流や助け合いが好きで、地域行事や日常のあいさつや見守りに心地よさを感じる層
- ・子ども～高齢者までコミュニケーションがある雰囲気の魅力を感じ、転入でも「混ざりやすい」ことを価値と捉える人

大正区の強み

2 | 安心・日常品質の高さ （治安／防災／医療／暮らしやすさ）

安心が日常にある、都心近くの穏やかなまち

【意見】

- ・治安が良く、住むとイメージが変わる“実感の安心”
- ・防災意識が高く、地域の共助とも相性が良い
- ・医療・救急など生活の安心基盤がある
- ・坂が少なく移動しやすい／都心アクセスも良く便利
- ・公園やスポーツ施設が充実し、穏やかに暮らせる

未来のファンは
どんな人？



穏やかに暮らしたい子育て・健康志向ファミリー層

- ・にぎやかさよりも、「家族が毎日安全で健康的に暮らせる」ことを重視しつつ、便利さも譲れない層
- ・少人数の学校で目が届く、地域が子育てに温かいといった“生活実感としての安心”に惹かれる人（子育て世帯＋見守りたい高齢者も含む）

3 | 風景資産・物語（水辺／空／昭和景観／歴史文化）

空と水辺と昭和が、毎日にあるまち

【意見】

- ・ 橋からの景色、空の広さ、朝日・夕焼け、汽笛など“体感できる風景”
- ・ 海や川、渡船など水辺の移動文化と景観が残る
- ・ 昭和の街並み・下町らしさ＝「都会の中のいなか」
- ・ 産業の発祥、第九につながる歴史、沖縄文化などの歴史資源や地域イベントが多い



未来のファンは
どんな人？

水辺・空・レトロにときめく“まち歩き／写真／文化”層

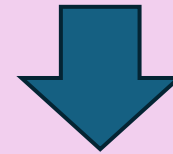
- ・ 渡船や橋の景色、空の広さ、昭和の街並みなど「体感できる風景」を目的に訪れ、好きになる人
- ・ 歴史、沖縄文化、まちあるき、写真、ローカル・レトロが好きで、“語れる物語が多いまち”を推したくなる層

4 | ものづくり・挑戦（産業基盤／外部接続／関係人口）

つくる力で、挑戦が回り、
また帰ってこれるまち

【意見】

- ・ ものづくりのプロと産業基盤／企業と区民の距離が近い
- ・ 若い意見ウェルカム、実験・チャレンジ・再挑戦を受け入れやすい
- ・ 都心アクセスの良さ、ドーム近接など“外とつながる強み”
- ・ 出ても戻ってくる人が多い



未来のファンは
どんな人？

もう一度やりたいを応援してほしい
“再チャレンジ”層

- ・ 再チャレンジしたい人、地域で小さく始めたい人、若い意見を歓迎する空気に魅力を感じる層
- ・ いったん外へ出ても戻ってきたい（Uターン）人、通いながら関わる人など「出入りできる」「外とつながる」強みでファンになる人